

2学年

【主題名】
友達になるきっかけ

【教材名】
モムンとヘーテ

(光文書院)

主題を通して考えたいこと

<友情、信頼、思いやり、親切>

- 友達になるきっかけは、相手を思いやる心が相手に通じて始まるということが分かり、友達に思いやりの心をもって関わりようとする。



相談者

相談内容：板書の書き方



埼玉県和光市立
第五小学校
大澤 龍 先生

モムンとヘーテの関係を批判的に分析して、友達になるきっかけにはどんな心が大切かを考えさせることをねらいにチャレンジしてみました。しかし、教材を生かしきれなかったと感じています。また、モムンとヘーテの関係がどう変わっていったのか、最初と最後の違いが見える板書にできませんでした。板書の色の使い方も改善できそうです。ねらいの立て方と板書の工夫についてアドバイをお願いします。

本時の展開

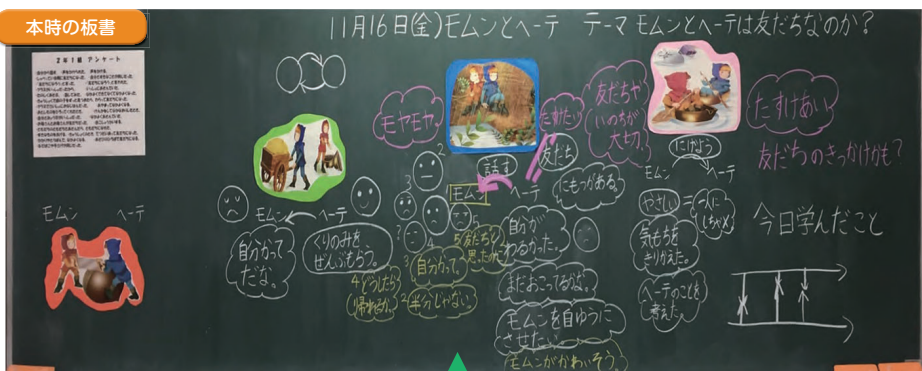
学 習 活 動

手 立 て

- 「友達になるきっかけ」について話し合い学習テーマを設定する。
- 教材を読み、二人は友達なのかという切り口から「友達になるきっかけ」について考える。
- 今日学んだことと、これから生かしていきたいと思ったことをまとめる。

- アンケートを活用し、問題意識を高める。
- 板書を活用し、友達の関係性について構造的に考えさせる。
- 相手を思いやることで、自分の心に芽生える「友情」について考えさせる。
- 相手を受け入れる心や、相手と友達でありたいと思う心などの「友情」について考えさせる。

本時の板書



授業で工夫した点

- ①導入でアンケートを活用し、問題意識を高めるようにした。
- ②板書を活用して、友達の関係性について理解が進むよう構造的に考えさせた。
- ③モムンとヘーテ、二人の登場人物の心情を捉えられるようにするために、表情を書き込ませて考えさせた。

ここはナイス！
板書の工夫



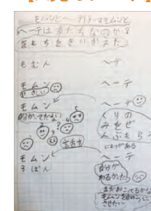
大澤先生は、モムンとヘーテの関係を図式化して描いているところがナイスです。このように図式化・視覚化することで、ひと目で二者の特徴をつかむことができます。チョークの色を変えて書き分けようとしたのはよいのですが、いちばん左に初めの意識を書き、その価値観がどのように変容していったかを時系列で表すようにすれば、子どもの自己評価も見取れるようになるのではないのでしょうか。

授業の内容 (T:教師 C:児童)

- T:クラスでの「友達になるきっかけ」のアンケート結果を見てみましょう。
- C:一緒に遊ぶ。声をかける。そのうち仲良くなる。
- T:今日の話は「モムンとヘーテ」です。モムンとヘーテは友達なのかどうか、読みながら考えましょう。
- T:どんなことが心に残りましたか。
- C:ヘーテは自分勝手だな。
- C:栗の実を全部もらっちゃった。
- T:今の二人は友達だと思いますか。
- C:(思うにも思わないにも挙手)
- T:意見が分かれましたね。二人は友達なのかどうか、話し合ってみましょう。
- C:モムンとヘーテは友達じゃないと思います。
- T:どうしてですか。
- C:だってモムンは悲しんでいるし、友達なら相手のことを考えるとします。
- T:友達なら悲しませることはしないということですね。
- C:友達なら半分に分け合ったほうが良いと思う。
- T:大雨の日にヘーテは、モムンに謝っていますね。それはどうしてでしょう。
- C:自分が悪かったという気持ちだから。
- T:この時のモムンはどういう顔をしているのでしょうか。描ける人、前に来て黒板に描いてください。
- C:(考えている顔や嫌そうな顔を描く)
- T:どうしてそう思ったのか説明してください。
- C:栗の実を半分ずつにしなかったから。
- C:自分勝手だと思っていてから。
- C:友達だと思っていたのに思っているから。
- C:どうしたら帰れるかなって考えている。
- T:「嫌だな」という気持ちと「雨でどうしたらいいかな」という二つの気持ちがあるようですね。
- C:そう、モヤモヤした気持ちになっている。
- T:どうして、ヘーテは「モムンだけでも」逃げてと言ったのでしょうか。
- C:自分が悪かったなと思っているから。
- C:モムンを怒らせちゃったから。
- C:モムンがかわいそうだから。
- T:黙っていたモムンは、ヘーテにどうして一緒に逃げようと言ったのでしょうか。
- C:助けたいと思ったから。
- C:友達の命が大切だから。
- C:一人にしちゃだめだと思ったから。
- T:今日のお話に「友達になるきっかけ」になることはありませんか。
- C:助け合いだと思う。
- T:助け合うことがきっかけになるかもしれませんね。今日の授業で学んだことをノートに書きましょう。

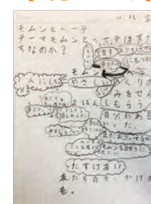
子どもの反応

【A児のノート】



モムンとヘーテは友達になりかけていると思います。なぜかというヘーテはちょっと自分からだけど、モムンはヘーテのことを考えているから、友達になるきっかけはあると思います。モムンが逃げようと言ったところからもう友達になっていたと思います。

【B児のノート】



はじめは自分からのヘーテだったけど、さいごにモムンのことを考えられるヘーテになったのはえらいと思います。モムンは雨がふってきたらいっしょに逃げようと言ったのも思いやりだと思います。

わたしなら
こうする！
ねらいの
立て方と
問いの工夫



ねらいで、相手に思いやりの心が通じるところに設定できているところがいいですね。友情の学習において、相手の意識を明確にさせることは、重要な観点です。だからこそ発問展開で、さらに突っ込んで考えさせたいものです。例えば、最初の二人と最後の二人の友達レベルはどのくらいアップしたか。「最初の二人のような友達関係だったらできないけれど、最後の二人のような友達だったらできることは何か」などと子どもたちに投げかけてみましょう。

ランクアップ
アドバイス
広げる活動
について



「広げる活動」と言っても、一つではありません。授業中に子どもたちの考える観点を広げる、つまり多面的・多角的に考えさせる観点を与えるのも「広げる」です。また、授業後に自分の生活にどのように生かしているかを展望し、実践意欲をもたせることも「広げる」ですね。前者は子どもたち同士の意見交流や教師の発問の工夫や問い返して、後者はそのような友達関係があったら何ができそうかという希望的展望をもたせることが有効でしょう。



道徳授業 Q&A

Q1

【4 学年】

【内容項目】
礼儀

【教材名】
お礼の手紙
(光文書院)



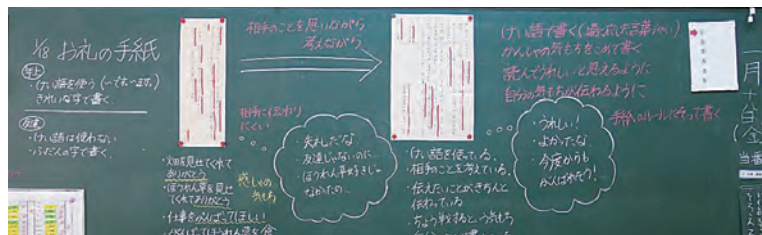
相談者

内容：展開の工夫



山口県下関市立
豊東小学校
河野 泰子 先生

初めに書いた手紙と指摘された後に書いた手紙を対比させ、給食週間で調理員さんや生産者さんへ手紙を書くことと関連づけて、手紙を書くときに気を付けるとよいことについて考えさせました。展開部分で初めの手紙について指摘をしましたが国語的な内容になり、終末も「手紙はきれいな字で書く。」などと国語的なまとめになってしまいました。道徳的価値を考えさせるためには、展開部分をどのように工夫すればよいのでしょうか。



A1

ポイント
アドバイス



ここはナイス！

初めの手紙と後に書いた手紙を対比させただけでなく、給食週間と関連づけて授業を構成したのはとてもよいですね。生活経験と重ねて考えやすくなります。きっと調理員さんや生産者さんへの手紙はよりきれいな字になったことでしょう。板書も「ふさだし」に気持ちを書く等の工夫が見られ、もらった人の気持ちを分かりやすく対比しています。

ランクアップアドバイス

初めに書いた手紙と後に書いた手紙の違いは、感謝の気持ちが相手に伝わるかどうかです。手紙の目的を想起させ、「字はなぜきれいに書くのか？」と問い返して、行為の奥にある思いに気づかせたいですね。礼儀は敬意を表す行動様式(形)ですが、「形(きれいな字・時候の挨拶等の表現方法)」と「心(感謝の気持ち)」が一つになってこそ、思いが相手に伝わります。

Q2

【2 学年】

【内容項目】
正直、誠実

【教材名】
ねこが わらった
(光文書院)



相談者

内容：本音を引き出す発問



山口県宇部市立
黒石小学校
森賀 梨奈 先生

正直に過ごすことの大切さは分かっているけれども実際に行動することは難しいものです。そこで、中心発問として「なぜ、ねこが笑ったように見えたのか。」を問いかけ、児童の内心に迫る手立てを行いました。なかなか本音での意見交流や深まりは見られませんでした。児童が自分をしっかりと見つけ、この価値について主体的に議論できるようにするためには、どのような手立てや迫り方が必要だったのでしょうか。



A2

ポイント
アドバイス



ここはナイス！

子どもの行動と意識のすれに着目して、ねらいを明確にした授業を構成したことはとてもよいです。また、場面絵を活用して、教材の内容と問いを分かりやすくした板書構成もいいですね。中心発問を「なぜ、ねこが笑ったように見えたのか。」にしたのもよいです。ハートの掲示物を用意し、「これからは……」を考えさせた終末はポジティブなイメージとなりますね。

わたしならこうする！

まず、△を○にしようとした場面で「なぜ、なおそうとしたのか」を問い、主人公の弱い心を押さえます。そのとき、導入で尋ねた自分のうそをついた体験と重ねて考えさせるとよいでしょう。一気に「自分事として」考えることができます。併せて「なあに、ねこなんかに分かるものか。」と思っている点にも着目させるとよいでしょう。